

平成 2 5 年 度

主 要 施 策 の 成 果

那 珂 川 町



# 平成25年度主要施策の成果（一般会計）

## 議会費関係

### 1 議会開催日数

○定例会	4回	会期日数	28日
○臨時会	3回	会期日数	3日

### 2 付議事件数

○町長提出	93件				
□条例	20件	□予算	38件	□決算	9件
□その他	19件	□専決・報告	7件		
○議員提出	43件				
□条例	2件	・報告	28件	□その他	13件

### 3 請願・陳情

○受理件数	16件
-------	-----

### 4 一般質問の人数

6月	5人	9月	4人		
12月	5人	3月	5人		計19人

### 5 委員会

○議会運営委員会	9回
○常任委員会	20回
□総務企画常任委員会	6回
□教育民生常任委員会	8回
□産業建設常任委員会	6回
○広報特別委員会	14回
○議会改革特別委員会	21回
○庁舎建設並びに消防庁舎建設検討特別委員会	5回
○県立高校再編計画に関する調査特別委員会	3回

## 6 議員派遣

### ○議員研修

□町村議会議員研修会(宇都宮市) 平成25年11月21日

### ○行政調査

□滋賀県愛荘町 外 平成25年7月1日～3日

## 総務費関係

### 1 人事関係(一般職員)

#### (1)職員数の状況

	平成25.3.31現在	平成26.3.31現在
一般職	207人	200人
技能労務職	11人	10人
計	218人	210人

(注)年度末退職者を除いた人数

#### (2)新規採用及び退職数の状況

	新規採用者	退職者
一般職	6人	13人
技能労務職	—	1人
計	6人	14人

### 2 那珂川町自治功労者等表彰

○高額寄附者感謝状贈呈 3団体

### 3 地方自治功労叙勲

#### ○死亡叙勲

青柳 良英 氏 (従六位) 元小川町選挙管理委員会委員長

加藤 松平 氏 (従六位) 元小川町議会議員

### 4 町有財産管理事業

原油価格の高騰を受け、財産管理全般において経費の節約に努め、町有施設においては施設の有効利用を図り、防犯対策や環境に配慮した取り組みを実施した。

新庁舎建設については基本構想に基づき事業の促進を図った。

(1) 庁舎維持管理

○防犯カメラの設置

□防犯カメラシステム導入（リース） 2台

(2) 町有財産管理

○町財産（未利用施設）の有効活用

・旧和見小学校校舎の解体工事 15,750千円

・旧和見小学校敷地の貸付（特別養護老人ホーム用地）

○環境に配慮した公用車の導入

□電気自動車導入（リース） 2台

(3) 新庁舎整備

○新庁舎建設事業の促進

・新庁舎建設計画に伴う土地の測量・設計業務委託 9,765千円

・那珂川町庁舎建設基本計画・基本設計業務委託 23,993千円

5 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1) 交通安全対策

○「那珂川町交通事故抑止対策町民の集い」の開催

□平成25年9月3日 馬頭総合福祉センター

(2) 交通指導員の設置

○教育指導員 1名

○一般指導員 6名

(3) 交通安全教育の実施

○幼稚園・保育園児童対象 65回 3,181人

○小中学校児童生徒対象 24回 1,045人

○母親対象 7回 292人

○高齢者対象 39回 1,039人

(4) 交通安全施設の整備

○道路反射鏡 3基

○区画線 2,267m

(5) 防犯対策

○LED防犯灯ESCO事業 1,344基

## 6 地域公共交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、デマンドタクシーの実証運行及び那珂川町コミュニティバス「馬頭烏山線」を運行した。

### (1) デマンドタクシー「なかちゃん号」利用実績

平成25年度	利用者計 (月/人)	運行日数 (日)	1日あたり (人/日)	備 考
4月	1,503	21	71.6	
5月	1,529	21	72.8	
6月	1,445	20	72.3	
7月	1,625	22	73.9	
8月	1,540	22	70.0	
9月	1,450	19	76.3	
10月	1,609	22	73.1	
11月	1,482	20	74.1	
12月	1,509	19	79.4	
1月	1,293	19	68.1	
2月	1,412	19	74.3	
3月	1,418	20	70.9	
計	17,815	244	73.0	

☆デマンド交通利用登録者数（平成26年3月31日現在）2,956人

### (2) 那珂川町コミュニティバス「馬頭烏山線」の利用実績

- 乗車人数 23,460人
- 運行日数 363日

## 7 企画調整・地域振興

### (1) 会議等の開催

町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、庁議を10回開催した。

### (2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画後期基本計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

### (3) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

#### (4) 情報システムの総合管理

情報資産を様々な脅威から保護することと、情報資産の機密性、安全性及び可用性を確保していくために那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

#### (5) 学官連携の取組み

学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アート専門学校との相互友好協力協定に基づき、次の事業を行った。

□ 観光PRビデオ制作

- 環境教育用小冊子（漫画）作成・・・中学校1年生対象（テーマ：地球温暖化）
- ・ 新商品デザイン事業（星の見える丘農園・ロゴマークデザイン、グッズデザイン）
- ・ 特産品生産施設看板製作

また、学生が実践的で幅広い見識を現場体験により養い、その成果を町の活性化に活かすことを目的に、学校法人帝京大学経済部地域経済学科、学校法人宇都宮学園文星芸術大学、学校法人国士舘大学（文学部史学地理学科考古・日本史学専攻考古学研究室）と相互協力協定を締結した。

#### (6) まちづくり3大重点プロジェクト

##### ○ 「情報通信基盤の活用」推進プロジェクト

第2次那珂川町地域情報化基本計画を策定し、情報通信基盤の有効な利活用を図った。

##### ○ 「自然・環境との共生」推進プロジェクト

那珂川町環境基本計画に基づき、環境のまちづくり事業を推進した。

##### ・ 環境のまちづくり推進会議

- ◇ 推進会議 2回
- ◇ 部会（自然環境・生活環境・資源エネルギー・環境学習） 20回
- ◇ 視察（福島県須賀川市 11月12日） 1回

##### ・ 光輝くまちづくりプロジェクト

##### ◇ 小川総合福祉センター防災型太陽光発電システム整備事業

事業費：211,860千円（国庫補助金31,115千円、過疎債72,900千円）

蓄電システム 蓄電池134kw、太陽光発電30kw

太陽光発電システム 太陽光発電200kw

##### ・ 太陽光発電等設備導入事業

- ◇ 太陽光発電 73件 補助額 11,403千円
- ◇ 高効率給湯器 55件 補助額 2,630千円

##### ・ 環境教育用小冊子（漫画）作成

- ◇ テーマ 「地球温暖化」（中学1年生対象）

◇ 作成方法 環境のまちづくり推進会議と町内小中学校、宇都宮メディア・アーティスト専門学校の連携により作成

◇ 作成部数 900部

・マイバッグキャンペーン開催

町内33店舗 10月～11月の2ヶ月間実施

応募総数 2,778通、レジ袋削減数 26,372枚

・環境学習会開催支援 4件 85千円

・牛乳パック資源化運動 町内4小学校で9月～12月の中で実施

○「行財政改革」推進プロジェクト

第2次行財政改革推進計画に基づき、行財政改革の推進を図った。

#### (7) 土地利用調整

那珂川町土地利用調整基本計画に基づき、適正な土地利用の誘導を行った。

#### (8) 協働によるまちづくり推進事業

○地域住民との協働によるまちづくり推進事業

「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」を目指して、3つのまちづくり団体に対して補助金を交付した。

□南町商店会 400千円

□上河原サンデー会 400千円

□小砂地区「日本で最も美しい村」 400千円

#### (9) 地域版プラットフォーム事業

町の地域振興を図るため、地域の課題解決に向け取り組むことを目的とした「なかがわ元気プロジェクト連絡協議会」に対して補助金を交付した。 340千円

#### (10) 里の“守”サポート事業実践活動モデル事業

町内4地区を対象に、個別の宅配とゆるやかな見守りを実施する「なかがわ元気応援隊」を運営する那珂川町商工会に対して補助金を交付した。 600千円

#### (11) 提案型補助金制度

創意と工夫による住民本位のまちづくりを推進するため、提案型補助金制度により、新たに1件を採択し、すでに採択している5件について支援を行った。

#### (12) 「日本で最も美しい村」連合加盟運営費

小砂Village協議会に対して補助金を交付した。 250千円

### 8 広報・広聴

#### (1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

○広報なかがわ(毎月10日発行) 5,800部/月

(2)那珂川町公式ホームページの運営

「くらしの情報」、「観光情報」、「生涯学習」、「町のデータ」などの柱をメインに町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。また、ホームページのリニューアルに伴い導入したCMSを活用し、迅速で正確な情報の掲載に努めた。

(3)統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園の設置状況(児童生徒数、教諭の配置状況など)を調査した。

○住宅・土地統計調査

10月1日を基準日として5年ごとに実施、町内29調査区の500世帯を対象に、住宅・土地統計調査を実施した。

○工業統計調査

毎年12月31日を基準日として、町内38調査区の製造業者の事業所(104事業所中、従業員数4人以上の56事業所を対象)の従業員数、売上高、製造品種などの状況を調査した。

(4)行政事務連絡等

行政区長・班長を委嘱し、事務執行の協力を得た。

○行政区長 37人

○行政班長 195人

(5)情報公開等

○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町長	8	4	3	1

○個人情報保護の運用状況

個人情報の開示請求はなかった。

9 都市交流

(1)姉妹都市：アメリカ合衆国ホースヘッズ村

青少年海外体験学習派遣事業 3月15日～26日 12名

(2)姉妹都市：滋賀県愛荘町

中学生姉妹都市交流事業(那珂川町会場) 8月17日～20日 12名

## (3) 友好都市：秋田県美郷町

職員事務研修として訪庁	8月1日～2日	7名
-------------	---------	----

## (4) 観光交流都市：東京都豊島区

フォーク&カントリーウエストパークフェスティバル	6月1日～2日	5名
東京フラフェスタin池袋2013	7月20日～21日	5名
那珂川町田舎のグルメと体験ツアー	9月21日～22日	11名
友好都市観光物産展	10月12日～13日	6名

## 10 税務

## (1) 町税等収入状況

## ① 町税

(単位：円、%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
町民税	962,108,064	904,003,208	4,230,244	53,874,612	93.96
(1)個人	710,486,964	655,351,508	3,225,044	51,910,412	92.24
現年課税分	653,549,500	637,884,511	0	15,664,989	97.60
滞納繰越分	56,937,464	17,466,997	3,225,044	36,245,423	30.68
(2)法人	251,621,100	248,651,700	1,005,200	1,964,200	98.82
現年課税分	248,859,700	248,315,700	0	544,000	99.78
滞納繰越分	2,761,400	336,000	1,005,200	1,420,200	12.17
固定資産税	1,274,682,647	912,127,597	13,513,870	349,041,180	71.56
(1)固定資産税	1,267,515,847	904,960,797	13,513,870	349,041,180	71.40
現年課税分	937,907,900	855,782,326	88,800	82,036,774	91.24
滞納繰越分	329,607,947	49,178,471	13,425,070	267,004,406	14.92
(2)交付金	7,166,800	7,166,800	0	0	100.00
軽自動車税	47,714,562	43,582,422	462,700	3,669,440	91.34
現年課税分	43,617,400	42,537,200	12,000	1,068,200	97.52
滞納繰越分	4,097,162	1,045,222	450,700	2,601,240	25.51
町たばこ税	142,492,110	142,492,110	0	0	100.00
特別土地保有税	6,438,758	0	0	6,438,758	0.00
現年課税分	0	0	0	0	0.00
滞納繰越分	6,438,758	0	0	6,438,758	0.00
入湯税	16,763,680	16,763,680	0	0	100.00
現年課税分	16,763,680	16,763,680	0	0	100.00
滞納繰越分	0	0	0	0	0.00
町税合計	2,450,199,821	2,018,969,017	18,206,814	413,023,990	82.40
現年課税分	2,050,357,090	1,950,942,327	100,800	99,313,963	95.15
滞納繰越分	399,842,731	68,026,690	18,106,014	320,148,785	17.01

②国民健康保険税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
国民健康保険税	749,506,857	571,028,826	12,999,068	165,478,963	76.19
(1)特別徴収	41,432,200	41,542,400	0	△110,200	100.27
(2)普通徴収	708,074,657	529,486,426	12,999,068	165,589,163	74.78
現年課税分	536,168,200	484,478,470	0	51,689,730	90.36
滞納繰越分	171,906,457	45,007,956	12,999,068	113,899,433	26.18

③介護保険料

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
介護保険料	270,005,400	265,117,100	726,400	4,161,900	98.19
(1)特別徴収	245,218,100	245,278,500	0	△60,400	100.02
(2)普通徴収	24,787,300	19,838,600	726,400	4,222,300	80.04
現年課税分	21,074,200	19,083,700	0	1,990,500	90.55
滞納繰越分	3,713,100	754,900	726,400	2,231,800	20.33

④後期高齢者医療保険料

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
後期高齢者医療保険料	116,748,900	115,790,400	93,100	865,400	99.18
(1)特別徴収	94,764,200	94,883,900	0	△119,700	100.13
(2)普通徴収	21,984,700	20,906,500	93,100	985,100	95.10
現年課税分	21,375,100	20,428,400	0	946,700	95.57
滞納繰越分	609,600	478,100	93,100	38,400	78.43

(2)徴収嘱託員収納実績

○徴収嘱託員 1人

○収 納 額 43,409,808円

(3)税務関係証明等

○件 数 4,071件

○手数料 972,490円

11 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

○戸籍届出等件数 1,051件(届出513件・送付538件)

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

○証明等発行件数	戸籍関係	9, 864件
	住民票	9, 978件
	印鑑証明	6, 220件
	その他	2, 931件
○旅券申請・交付件数	申請225件	交付211件

## 12 選挙

○参議院議員通常選挙	平成25年7月21日執行	投票率：53.14%
○那珂川町長選挙	平成25年10月27日執行	投票率：72.62%

## 13 監査委員

### (1) 例月出納検査の実施

○4月から毎月実施	計12日
-----------	------

### (2) 決算審査・定期監査

○一般会計及び特別会計の審査期間	平成25年7月22日～8月6日
○水道事業の審査日	平成25年7月9日
○意見書・監査結果報告書提出日	平成25年8月22日

### (3) 財政援助団体等補助監査

○那珂川町観光協会補助金	平成25年10月21日
○提案型補助金	平成25年10月21日

(地域生活相互支援 大山田ノンフェール・くらねえ)

(栃木DARC 那珂川コミュニティーファーム)

○那須南農業協同組合営農指導事業費補助金	平成25年11月21日
○商工会経営改善普及事業費補助金	平成25年11月21日
○ホームステイウィークエンド事業補助金	平成25年11月21日
○監査結果報告書提出日	平成26年1月31日

### (4) 財産区特別会計決算審査

○馬頭財産区審査	平成25年7月26日
○意見書提出日	平成25年8月22日

## 民生費関係

### 1 福祉団体等への支援

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、福祉団体等の育成・支

援を実施した。

○民生委員児童委員への支援	53名	3,486千円
○社会福祉協議会への支援		
□社会福祉協議会運営費補助金		33,900千円
□社会福祉協議会事業費補助金		2,558千円
○災害見舞金		
・火災2件		200千円

## 2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

○補装具給付及び修理	31件	1,835千円
○自立支援(更生)医療	52人	33,246千円
○重度心身障害者医療費助成	279人	25,843千円
○特定疾患患者見舞金	123人	4,074千円
○障害者福祉サービス事業	152人	226,307千円
○障害者地域生活支援事業	162人	46,562千円

## 3 高齢福祉

高齢者の生きがいがづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

○敬老会	18会場・1,444人	6,908千円
○敬老祝金 (80、85、90、95歳)	593人	4,755千円
(100歳)	7人	700千円
○緊急通報システム装置の貸付(H26.3.31現在)	74件	2,793千円
○ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	6人	83千円
○軽度生活援助事業	10人	275千円
○老人福祉施設入所措置(H26.3.31現在)	養護15人	36,227千円
○馬頭総合福祉センター管理運営	利用者24,468人	24,862千円
○小川総合福祉センター管理運営	利用者23,167人	25,390千円
○シルバー人材センター運営補助金		6,000千円
○老人クラブ等社会活動推進事業補助金		2,400千円

## 4 国民年金

公的年金(国民年金)の必要性を十分に周知させるため、「広報なかがわ」への掲載

等により普及推進を図った。

○国民年金被保険者数 3, 566人  
(1号:2,767人、3号:799人 ※H26.3月末現在)

## 5 児童福祉

子育てを行っている家庭を支援し、児童の健全育成を図るため、次の事業を実施した。

○保育園の運営 4園／児童数320人 113, 539千円  
(児童数内訳：3歳未満117人、3歳70人、4歳以上133人)

○放課後児童クラブの運営 2か所／児童数52人 10, 600千円

○子育て支援センターの運営 利用者数3, 512人 2, 633千円

○遺児手当の支給 7人 186千円

○児童手当の支給

区 分	支給月額(円)	延児童数(人)	支給金額(千円)
3歳未満	15, 000	3, 155	47, 325
小学校修了前(第1子・第2子)	10, 000	10, 303	103, 030
小学校修了前(第3子以降)	15, 000	1, 890	28, 350
中学校修了前	10, 000	5, 453	54, 530
特例給付	5, 000	194	970
合 計		20, 995	234, 205

○子ども・子育て支援新制度対策

・子ども・子育て会議 2回

○児童虐待防止対策

・要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回  
実務担当者会議 11回

○医療費助成事業

事業名	対象人数(人)	助成人数(人)	助成件数(件)	助成額(千円)
こども医療費助成	1, 907	1, 206	15, 772	22, 726
妊産婦医療費助成	143	69	371	1, 575
ひとり親家庭医療費助成	504	274	4, 029	6, 979
養育医療費助成	2	2	7	966
育成医療費助成	4	3	5	4

## 衛生費関係

### 1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は最重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

#### (1)健康づくり推進事業

ライフスタイルの多様化に伴い増加している生活習慣病を予防改善するために、栄養・食生活、運動・身体活動の見直しや習慣化について実践できるよう支援した。

○メンバーズらくらく倶楽部	29回	392人
○食生活改善推進員協議会	18回	402人
○その他		
□「広報なかがわ」による啓発活動（健診を受けよう）		12回
□「福祉まつり」での食育普及及び啓発活動	1回	130人
□「福祉まつり」での体組成測定	1回	74人

#### (2)生活習慣病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「がん検診推進事業」により、特定の年齢のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

○病態別栄養相談	11回	26人
○訪問指導	随時	10人
○基本健康診査(20～39歳)	26回	384人
○胃がん検診(20歳～)	26回	1,573人
○子宮がん検診(集団検診)(20歳～)	14回	1,187人
(うち、がん検診推進事業受診者	75人)	
○子宮がん検診(個別検診)	6～2月	24人
(がん検診推進事業)		
○乳がん検診(20歳～)	14回	1,574人
(うち、がん検診推進事業受診者	217人)	
○乳がん検診(個別検診)	3回	15人
(がん検診推進事業)		
○大腸がん検診(20歳～)	26回	2,572人
(うち、がん検診推進事業受診者	260人)	
○肺がん検診(20歳～)	26回	2,615人

○前立腺がん検診	14回	910人
○肝炎ウイルス検診	26回	153人
○骨粗しょう症検診	14回	217人
○歯周疾患検診	7～9月	73人
○精神保健相談会	12回	30人
○のんびりくらぶ	75回	20人
○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」 パワーアップコース	16回	302人
○職域健康教室	1回	30人
○糖尿病教室	5回	76人

### (3) 母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種健診を実施した。また、成長過程におけるさまざまな発達課題に対して、関係機関と連携をとりながら、児の健やかな成長を促すことを目的とした発達障害児支援事業を実施した。

○乳児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）	随時	102人
○母子健康手帳の交付	随時	81人
○乳児健診（4か月・8か月）	12回	173人
○1歳児相談	6回	87人
○1歳6か月児健診	6回	83人
○2歳児相談	12回	99人
○3歳児健診	6回	96人
○3歳児精密健康診査	随時	12人
○虫歯予防教室（フッ素塗布）	12回	540人
○妊婦健康診査	随時	1,188人
○みんなの子育て広場	21回	294人
○マタニティクラス	11回	18人
○子ども栄養相談	5回	13人
○のびのび発達相談	10回	208人
○乳幼児発達相談	20回	63人
○ひまわり教室（早期教育相談グループ教室）	11回	102人
○発達障害児事例検討会、研修会	1回	57人
○ベビープログラム	12回	15人
○思春期教室（2校×2学年）	4回	279人

(4) 感染症予防対策事業

結核及び各種感染症の発症予防のため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。また、高齢者の肺炎罹患による重篤化予防のため肺炎球菌ワクチン及び、先天性風疹症候群を予防するための成人男女に風しんワクチン接種費用の助成を実施した。

○ 定期予防接種	・ B C G 接種	7 5 回
	□ ポリオ	1 3 2 回
	□ 麻しん・風しん混合	1 9 5 回
	□ 二種混合	1 4 7 回
	□ 三種混合	1 2 7 回
	□ 四種混合	2 5 5 回
	□ インフルエンザ	4, 1 1 6 回
	□ 日本脳炎	4 9 7 回
	・ 子宮頸がん予防ワクチン	6 回
	・ ヒブワクチン	3 7 5 回
	・ 小児用肺炎球菌ワクチン	3 8 0 回
○ 任意予防接種の助成	・ 肺炎球菌ワクチン	2 6 9 回
	・ 風しんワクチン	5 5 回

(5) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

○ 対象地区：大内・大那地・小砂	1 8 回	延 9 3 人
------------------	-------	---------

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

(1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○ 廃棄物内訳		
□ 可燃ごみ	4, 1 8 0 t	
□ 不燃ごみ	2 7 6 t	
□ 資源ごみ	8 3 2 t	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>※資源ごみ内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スチール缶 4 5 t</li> <li>・ アルミ缶 9 t</li> <li>・ ペットボトル 4 8 t</li> <li>・ びん類 1 7 8 t</li> <li>・ 紙類 4 6 2 t</li> <li>・ 布類 9 0 t</li> </ul> </div> </div>
□ 粗大ごみ	1 0 3 t	
□ 有害ごみ	6 t	
○ 搬入内訳		
□ 委託業者収集搬入	4, 4 6 2 t	

□直接搬入 935t

(2)畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

- 登録 54頭
- 予防注射 851頭
- 野犬・不用犬(猫)引取り 犬35頭、猫19頭

(3)浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置に対し補助を行った。

- 浄化槽設置整備事業費補助金 51件 19,362千円

(4)放射能対策

○空間放射線量測定

山村開発センター及び小川庁舎において、測定及び結果をHP等に公表した。

- 放射線量測定器の貸し出し 4件
- 食品の放射性物質簡易検査 120件

3 公園墓地・小川墓地

公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1)河川等の水質検査の実施 37ヶ所

(2)騒音、悪臭等の防止対策

(3)不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4)北沢地区不法投棄物処理対策

地域振興策の推進を図るため県と協議を行った。また、最終処分場の理解を深めもらうための先進地視察に協力した。

○地域振興策に関する会議出席

- ・地域振興に係る担当者会議 1回

○最終処分場先進地視察

- ・エコフロンティアかさま(112名参加) 4回

# 農 林 水 産 業 費 関 係

## 1 農業委員会

農業委員会等に関する法律に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1) 農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤強化促進法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○ 農地法 3 条（農地の権利異動等）	5 2 件	2 7 6 筆	35.49ha
○ 農地法 4 条（自己農地の転用）	6 件	7 筆	0.44ha
○ 農地法 5 条（転用での権利設定・移転）	1 8 件	1 9 筆	1.64ha
○ 非農地証明	1 2 件	2 5 筆	1.56ha
○ 利用集積	1 9 5 件	4 7 7 件	75.45ha

(2) 農地の公的管理主体として、食糧の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図るため、優良農地を対象に農地パトロールを行い、利用状況調査を実施した。

(3) 農業者年金のリーフレットを配布するなどして、制度の普及及び加入推進を行い、年金の適正な需給による農業者の老後の生活安定に努めた。

(4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及推進活動を実施した。

## 2 農業振興事業

農業振興については、中山間地域等直接支払交付事業、農地・水保全管理支払事業により地域の振興・環境保全の取り組みや農業担い手の育成など、農地利用の推進事業を行った。平成 25 年度は霜害により病虫害防除支援、防霜ファンの整備支援を行った。また、東日本大震災関連事業により、平成 24 年度に引き続き、農産物の安全・安心キャンペーンを実施した。

平成 25 年度から、イノシシ等による農産物被害等の防止・生活環境の保全を図るため、獣害防止電気柵等の導入支援事業を開始した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業 急傾斜地 16 集落 緩傾斜地 51 集落	31,748	交付事業 31,548 推進費 200
農地・水保全管理支払事業	農地水環境の良好な保全と質的 向上の共同作業 取組集落 5 集落	1,823	総事業費 7,313

使用済農業用生産資材適正処理推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬等の処理	489	総事業費 2,743
耕作放棄地再生利用緊急対策事業	耕作放棄地の解消支援	270	総事業費 559
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成	44	総事業費 283
地域農業マスタープラン作成事業	人・農地プラン見直しの意向調査及び農地利用図ソフト購入	400	
県産農産物の安全・安心PR事業	農産物直売所における農産物の安全安心キャンペーンの実施	500	総事業費 1,000
獣害防止電気柵導入支援事業	電気柵等の導入支援	815	総事業費 1,724
放射性物質吸収抑制対策支援事業	放射性物質吸収抑制土壌改良剤（塩化加里・硫酸加里）の導入支援	399	
農産物モニタリング検査事業	検査農産物提供者への支援	38	
農業災害対策特別措置事業	凍霜害による病害虫防除支援	325	総事業費 656
果樹防霜設備緊急整備事業	凍霜害対策のための防霜ファン整備支援	353	総事業費 3,706
美しい田園風景協働保全支援事業	田園風景保全活動支援	80	総事業費 216
環境保全型農業直接支援対策	生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援	66	総事業費 133
ホンモロコ養殖事業	ホンモロコ連絡協議会・矢又蒲尊ホンモロコ養殖組合への助成、	440	総事業費 1,167

### 3 畜産振興事業

J Aなす南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留事業、家畜伝染病予防対策事業、畜産団体補助事業、和牛繁殖支援事業	6,035	

### 4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、用排水路及び農道整備事業を実施した。また、県営馬頭中部中山間総合整備事業による事業推進を図るとともに、現地

調査及び計画策定を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
町単農村振興事業	町単独農村振興事業費補助金 11件	3,491	
県単農業農村整備事業	小口地区農道整備事業 農道舗装 L=200m 測量設計一式	3,697	
農業基盤整備促進事業	後沢地区水路整備事業 用排水路整備工事 L=723m 測量設計工事	37,525	
	吉田地区水路整備事業 用排水路整備工事 L=330m 測量設計工事	10,796	
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	34,044	
県営馬頭中部中山間総合整備事業	県営農業農村整備事業調査計画実施費負担金	9,986	

## 5 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉処理加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 213頭 (町内119、町外94)	10,917	イノシシ肉販売収入 3,916

## 6 林業振興事業

とちぎの元気な森づくり事業により、里山の景観保全及び維持管理を行うとともに、八溝産材の需要拡大を促進することにより、地域林業の振興を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
森林整備地域活動支援交付事業	施業集約化の促進 10協定 140ha	4,100	
とちぎの元気な森づくり事業	里山の整備 8箇所 50.0ha	12,285	
	里山の管理 30箇所 120.9ha	5,775	
	とちぎの元気な森づくり事業補助金 4箇所 17.0ha	5,420	

林道維持管理事業	林道滝ヶ沢線外2 維持・修繕	1,388	
	林道城間線舗装工事 L=521.4m W=4.0m	11,603	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助 8件	2,176	

#### 林業施設利用状況

施設名	利用者数	備考
森林公園特産品生産施設	627人	
森林公園緑の展示館	142人	
観光乗馬施設（ホースランド）	480人	
緑の交流館	294人	

#### 7 放射能対策

- イノシシ肉の放射性物質検査を全頭実施した。
- 関係機関とともに農産物、林産物及び水産物における放射性物質の検査を実施した。
- 放射性物質の吸収抑制効果のある土壌改良剤を導入した。
- 農産物の安全安心キャンペーンを実施した。

## 商工費関係

#### 1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、商工業振興事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

##### (1) 商工会支援

- 那珂川町商工会経営改善普及事業費補助金 12,346千円
- 商工業振興事業費補助金 1,387千円
- 商工会まちづくり委員会補助金 450千円

##### (2) 中小企業振興資金融資状況

- 新規貸付件数 55件 161,680千円
- 信用保証料補助額 55件 3,286千円
- 特定中小企業者認定 5号 9件
- 東日本大震災復興緊急保証中小企業者認定 7件

## 2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

### (1) 観光関連団体への補助

○那珂川町夢まつり実行委員会	3, 025 千円
○那珂川町観光協会	8, 250 千円
○馬頭温泉保護開発協会	900 千円

### (2) 主な観光施設の利用状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	1, 430 人	
町営温泉浴場ゆりがねの湯	63, 294 人	
道の駅ばとう	440, 344 人	
ふるさとの森公園	4, 621 人	
まほろばキャンプ場	937 人	

## 3 消費者行政

消費者被害拡大防止のため、消費者啓発パンフレットを老人クラブ会員に配布し、消費者啓発冊子を役場や福祉センター等の窓口に設置した。また、那珂川町老人クラブ連合会女性部研修会において消費者啓発に係る寸劇を上演した。さらに、消費者啓発用回覧板を作成し、効果的な啓発活動を行った。

○消費生活相談受付件数 6 件

## 4 開発推進

栃木県企業立地促進協議会等を通じ、情報収集に努め、企業訪問など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

## 土木費関係

### 1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備し、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
改良舗装	76号線	改良・舗装、用地・補償一式 L=306.3m W=10.0m	122,960	うち繰越明許費 41,146
	一渡戸大鳥線	改良・舗装、用地・補償一式 L=539.9m W=11.0m	124,670	うち繰越明許費 48,269
	和見立野線	改良、用地・補償一式 L=45.0m W=5.0m	33,645	
	都新道線	用地・補償一式 L=450m W=10.0m	28,423	うち繰越明許費 9,094
	上郷須賀川線	測量設計一式 L=2,000m W=7.0m	23,415	
	田山線	測量設計一式 L=360m W=8.0m	4,515	
	愛宕山線	測量設計一式 L=180m W=5.0m	2,363	

## 2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業(馬頭Ⅵ地区、馬頭Ⅶ地区、馬頭Ⅷ地区、和見Ⅲ地区、和見Ⅳ地区)を実施した。

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 馬頭Ⅶ A=0.45k㎡、馬頭Ⅷ A=0.68k㎡、 和見Ⅳ A=1.64k㎡	36,740	
	複製図作成 馬頭Ⅵ、和見Ⅲ 数値情報化 馬頭Ⅵ、和見Ⅲ	1,155	

## 3 公園

町民の身近な交流の場として、施設の維持管理に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
馬頭公園公衆トイレ補修工事	トイレ床修理	99	

## 4 住宅

町営住宅224戸、町有住宅76戸の維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
町営谷田住宅給水管布設替工事	L=313.5m、PPφ20mm	4,421	
町営愛宕住宅・町有三枚畑住宅解体工事	用途廃止に伴う解体	3,990	

# 消 防 費 関 係

## 1 火災の概況

平成25年度的那珂川町における火災出動件数は9件で、前年度に比較して2件の増であった。

○主な火災

発 生 日	場 所 等
5月16日	片平地内その他の火災
9月11日	小砂地内建物火災
9月28日	大山田下郷地内建物火災
10月14日	小川地内車両火災
12月30日	小川地内建物火災
1月20日	小砂地内建物火災
1月26日	浄法寺地内その他の火災
3月13日	矢又地内建物火災
3月25日	和見地内林野火災

## 2 消防施設の整備

○耐震性防火水槽

大山田下郷地内	1箇所 (40m <sup>3</sup> )
大山田上郷地内	1箇所 (40m <sup>3</sup> )

## 3 消防団点検・訓練関係

### (1) 点検

5月26日	那珂川町消防団夏季点検	出場率	70.0%
10月20日	那珂川町消防団通常点検	出場率	76.1%

### (2) 訓練

5月26日	水防訓練
8月25日	放水中継訓練

## 4 防災関係

○町災害復旧等支援の状況 (平成26年3月31日現在)

・町災害復旧等支援金申請件数	1,207件
・町災害復旧等支援金支払件数	84件 (6.9%)
〃 (累計)	1,007件 (83.4%)

・町災害復旧等支援金支払金額 8, 307, 312円

※未払分については、完成後平成26年度以降支払予定

## 教育費関係

### 1 学校教育

#### (1) 小学校・中学校

文部科学省及び県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。町教育基本方針に基づき、特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題として、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図るとともに、スクールカウンセラーを配置し教育相談体制の充実を図った。

また、適正規模での教育環境整備のため、薬利小学校及び小川南小学校は平成26年3月をもって閉校となった。

なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

○小学校統廃合準備費	21, 313千円
○スクールカウンセラー設置事業	1, 772千円
○小学校教育用コンピュータ機器借上	5, 952千円
○小学校教材備品費	1, 165千円
○小学校就学援助費	3, 341千円
○総合学習推進費	760千円
○中学校生徒通学費補助	764千円
○中学校教育用コンピュータ機器借上	3, 145千円
○中学校教材備品費	1, 034千円
○中学校就学援助費	4, 744千円
○外国語指導助手設置費	5, 859千円
○小学校スクールバス運転業務	24, 807千円
○中学校スクールバス運転業務	12, 071千円
○小学校非構造部材等耐震点検調査業務	924千円
○中学校非構造部材等耐震点検調査業務	819千円
○馬頭小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事監理業務（繰越明許）	2, 457千円
○馬頭小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事（繰越明許）	62, 370千円

○馬頭小学校トイレ洋式化工事	2, 258千円
○馬頭東小学校トイレ洋式化工事	1, 103千円
○馬頭西小学校トイレ洋式化工事	588千円
○馬頭西小学校校舎及び音楽室棟屋根塗装工事	1, 155千円
○小川小学校校舎大規模改修工事設計業務（繰越明許）	5, 145千円
○小川小学校校舎大規模改修工事監理業務（繰越明許）	3, 465千円
○小川小学校校舎大規模改修工事（繰越明許）	195, 279千円
○小川小学校体育館改修工事設計業務	1, 785千円
○小川小学校体育館改修工事監理業務	1, 313千円
○小川小学校体育館改修工事	35, 910千円
○小川小学校プール改修工事設計業務	630千円
○小川小学校プール改修工事監理業務	294千円
○小川小学校プール改修工事	10, 290千円
○小川南小学校体育館改修工事設計業務	1, 155千円
○小川南小学校体育館改修工事監理業務	525千円
○小川南小学校体育館改修工事	21, 315千円
○馬頭中学校体育館改築工事設計業務	10, 668千円
○馬頭中学校トイレ洋式化工事	3, 675千円
○小川中学校トイレ洋式化工事	2, 814千円
○小川中学校非常階段鉄骨塗装工事	1, 050千円

## (2) 幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努めた。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設の整備と教育環境の充実を図った。

### ○園児数の状況

- ・ひばり幼稚園 73名（3歳児22名、4歳児25名、5歳児26名）
- ・小川幼稚園 28名（3歳児 8名、4歳児11名、5歳児 9名）

### ○子育て支援事業

町内の2歳児とその保護者を対象に、子育て支援事業（親子にこにこクラブ）を開催した。

実施回数 9回 参加人数（延べ）91組185名

## (3) 学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

○給食実施状況

□小学校6校、中学校2校、幼稚園2園、児童生徒職員数1,481人

□完全給食 給食実施回数197回（うち米飯114回）

給食実施総食数 272,766食

（幼稚園は、5月より週3日の完全給食（水・木・金）、4月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

(4)放射能対策

○放射線測定

・小中学校及び幼稚園敷地の放射線測定

簡易放射線測定器により学校開業中、毎日、放射線量の測定を行い、線量の変化を確認した。

○放射性物質検査

・学校給食食材の放射性物質検査

安全で安心な学校給食を提供するため、給食用食材や給食1食（まるごと）について、給食センター及び県（塩谷南那須教育事務所）所有の多機能放射線測定器により定期的に放射性物質（放射性セシウム）の検査を実施した。

2 社会教育

町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境の形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたつて社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成を目的に学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民に活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努めた。さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を養うために地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

(1)生涯学習

生涯学習の啓発・普及を図り、理解を深めるため「なかがわ町民大学」を実施した。

演 題 地域を守る目と知識

講 師 梅本 正行 氏 NPO法人日本防犯学校学長/防犯アナリスト

参加者 70名

## (2) 青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進した。また、青少年の健全育成に努めた。

○ジュニアボランティアズクラブの育成・指導

○青少年育成協会の育成・指導

○成人式の開催 1月12日 新成人参加者193人

## (3) 家庭教育等

家庭教育学級、幼児教育学級、思春期講座を実施し、家庭教育などの重要性について理解を深めるとともに、家庭での実践を促すために親学習プログラムを実施した。

○家庭教育学級 馬頭東小学校・小川南小学校・小川中学校

○幼児教育学級 馬頭中央保育園・大内保育園・馬頭南保育園・わかあゆ保育園  
ひばり幼稚園・小川幼稚園

○思春期講座 馬頭中学校

## (4) 高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

○シルバー大学 11回 受講生21人

## (5) 公民館活動

歴史学習（放送利用講座）や自然体験（ネイチャークラブ）、親子のふれあい（親子わくわく塾）など幅広い学習の場の提供に努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議や研修の場として提供した。

○放送利用講座 8回 受講生 40人

○ネイチャークラブ 2回 参加者延べ46人

○親子わくわく塾 3回 参加者延べ40人

○小川公民館 利用件数 551件 利用人数 5,483人

## (6) 国際交流活動

国際社会への対応と国際理解を深めるため、青少年海外体験学習派遣事業、ホースヘッズ村交流事業、ホームステイウィークエンド in 那珂川の3事業を実施した。

## (7) 芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、小川地区の小学生を対象に、移動音楽鑑賞教室を実施した。

○文化祭の開催

種 目	期 日	場 所	出展数・参加者数
総合展	11月2日・3日	総合体育館	1, 365点
菊花展	11月1日～7日	南町駐車場	164点
菊花盆栽展	11月2日～7日	あじさいホール周辺	161点
邦楽民謡舞踊祭	11月9日	あじさいホール	50組
歌謡祭	11月17日	あじさいホール	111人

○南那須地区音楽祭の開催（担当：那珂川町）

10月1日 総合体育館 参加団体数29団体

○移動音楽鑑賞教室の実施

6月24日 小川総合福祉センターにおいて「ビバ！ムジカと「よろこびの歌」を歌おう」を実施

小川地区3小学校児童 約300名参加

○子どもの森の管理

(8)文化財保護事業

○文化財保護団体や文化財（技術）伝承者の育成

○那珂川町文化財の調査研究活用事業に関する相互協力協定締結

12月25日 国士舘大学

○文化財国庫補助事業

国指定史跡那須神田城跡保存管理計画策定事業

（委員会開催・地形測量・保存管理計画書刊行）

出土文化財再整理事業

（震災被害の文化財復旧作業 国士舘大学生35人（41日間）延べ1,435人参加）

○文化財教室の開催

小中高等学校への歴史学習支援のため文化財教室を開催

7月10日、12月4日 小川中学校第1学年 44名

6月5日 馬頭西小学校第6学年 13名

6月12日、21日、7月3日、10日 小川小学校第6学年 42名

1月15日 馬頭高等学校水産科 55名

○町内遺跡発掘調査事業

(9)美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
4月1日～4月14日	青木コレクション 花と美人の絵師 尾形月耕	543
4月20日～5月26日	春季特別展 溪斎英泉展 ーゴッホに愛された花魁ー(前期)	3,373
5月31日～6月30日	春季特別展 溪斎英泉展 ーゴッホに愛された花魁ー(後期)	1,911
7月5日～8月4日	浮世絵に描かれた富士山展	2,384
8月9日～9月8日	文明開化と蒸気機関車展	2,562
9月14日～10月20日	秋季特別展 城と武将 ー天下をめぐる男たちの戦いー(前期)	2,278
10月25日～11月24日	秋季特別展 城と武将 ー天下をめぐる男たちの戦いー(後期)	2,981
11月29日～1月19日	ゲルト・クナッパー回顧展	2,017
1月24日～3月2日	青木コレクション 最後の浮世絵師 小林清親	1,229
3月7日～3月31日	歌川国芳 ーみかけハこハゐがとんだいゝ人だー	1,547
計	特別展4回、企画展5回	20,825

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 名	観覧者数(人)
5月21日～5月26日	繭クラフト作品展	330
7月3日～7月7日	あいらぶ写真展	475
8月9日～8月18日	手づくり絵本展(南小)	704
9月22日～9月28日	ごてんまりふるさと三人展	400
10月10日～10月14日	スタンドグラス展	200
11月13日～11月17日	写真展「写友 那珂川」	203
11月19日～11月24日	秋山庄太郎写真芸術協会展	635
計		2,947

○調査研究・教育普及活動

- 講演会の開催 4回 115人参加
- ミュージアムトークの開催(各展覧会) 7回 163人参加
- ワークショップの開催 4回 45人参加
- 第9回那珂川町児童生徒版画コンクール 応募作品数 867点

(10) 郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図るため、企画展等を開催した。

○展示会

会 期	展 示 会 名	観覧者数(人)
5月 1日～ 6月30日	第15回企画展 大家からの手紙 －金子正一郎と玉堂・南風との交流－	1, 9 6 8
8月 1日～ 9月 1日	特別展 世界の昆虫展Ⅱ －虫が教えてくれること－	2, 0 6 0
11月 1日～ 1月15日	第16回企画展 烈公と小砂焼 －伝えたい陶器のほまれ－	2, 4 9 1

○展示会関連行事

期 日	展 示 会 名	場 所	参加者数(人)
5月19日	講演 金子正一郎と玉堂・南風との交流 －手紙を中心として－	馬頭郷土資料館	3 5
8月 4日	工作教室 「ウグイス笛を作ろう」	馬頭郷土資料館	1 8
11月 1日	講演 伝えたい陶器のほまれ －小砂焼の今昔－	馬頭郷土資料館	4 5
12月 8日	工作教室 「小砂焼を作ろう」	馬頭郷土資料館	1 6

○普及啓発活動

- ・古文書講座 毎週第3土曜日開催 全12回 受講生20人
- ・連携事業 南那須特別支援学校による奉仕作業(清掃) 9月26日
- ・刊行図書 平成25年度企画展報告、金子正一郎宛書簡集

○年間入館者数 11, 288人 開館日数313日

(11) 山村開発センター

住民の各種研修・会議・集会等に利用された。

○利用件数 245件 利用人数4, 183人

(12) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

○図書館奉仕業務の充実

○図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

- 受入冊数 3, 616冊 (うち寄贈1, 175冊)
- 視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実
- 調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実
- 教育・保育機関等への団体貸出の促進
- 子ども読書活動の推進
- 国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実
- 「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進
- 図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)
- ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実
- 年間利用状況
  - 登録者数 4, 986人
  - 図書貸出冊数 85, 319冊
- 文化事業の開催と文化活動の推進
  - お話会 幼児～小学生対象 63回 465人
  - 読書会 全町民対象 24回 192人
  - ブックスタート 乳幼児・保護者対象 6回 190人
  - 工作教室 幼児～一般対象 8回 81人
  - 親子読書教室 幼児・保護者対象 2回 112人
  - 文芸講演会 児童・保護者対象 1回 110人
  - 教養講座 全町民対象 3回 30人

### 3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

#### (1) 体育施設・夜間照明施設・学校体育施設の利用状況

施設名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体育施設	総合体育館	332	20	16,296
	馬頭西体育館	137	12	1,902
	小川体育館	326	27	11,589
	健武体育館	111	7	2,021
	武茂体育館	50	3	381

	谷川体育館		7 2	9	6 2 6
	大山田体育館		1 1 6	7	8 1 9
	小川武道館		1 6 6	3	8 2 3
	小川弓道場		4 5	1	3 6 0
	馬頭運動場		2 8 5	1 9	1 6, 4 0 7
	大山田下郷運動場		1 1 0	6	2, 9 7 3
	小川運動場		2 9 2	2 5	1 9, 9 2 4
	小川庭球場		1 8 1	1 3	3, 6 9 9
	那珂川町民プール		3 3	—	1, 1 4 5
	合 計		2, 2 5 6	1 5 2	7 8, 9 6 5
（うち 夜 間 照 明）	馬頭運動場		1 6 6	9	3, 1 9 5
	大山田下郷運動場		8 4	4	1, 9 8 6
	小川運動場		2 4 9	1 3	6, 8 0 5
	小川庭球場		1 4 6	4	1, 3 0 7
	馬頭東小運動場		1 3 1	5	2, 6 2 9
	小川南小運動場		1 0 8	2	2, 5 2 0
	合 計		8 8 4	3 7	1 8, 4 4 2
学 校 体 育 施 設	馬頭小学校	校庭	—	—	—
		体育館	7 0	5	4 0 6
	馬頭東小学校	校庭	1 3 8	5	2, 7 5 6
		体育館	3 5	3	6 8 9
	小川小学校	校庭	—	—	—
		体育館	3 0	1	6 1 3
	薬利小学校	校庭	—	—	—
		体育館	2 2	1	5 5 9
	小川南小学校	校庭	1 7 4	2	3, 8 4 0
		体育館	3 3	8	4 0 8
	馬頭中学校	校庭	—	—	—
		体育館	1 2 2	5	6 2 7
	小川中学校	校庭	—	—	—

		体育館	5	2	87
合 計		校庭	312	7	6,596
		体育館	317	25	3,429

(2) 社会体育活動の推進（各種体育行事の開催状況）

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
○町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・バスケットボール ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・ゆりがねマラソン大会 ・歩け歩け大会	37	67	4,171
○各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会 ・南那須地区小学生駅伝競走大会	4	5	164

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(19専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

また、スポーツ少年団(11団)や総合型地域スポーツクラブの活動支援を行った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

□スポーツクラブ 79団体 1,271人

□スポーツ少年団 11団体 247人

○総合型地域スポーツクラブ(まほろばの里スポーツクラブ)の育成

□運営委員会の開催 12回

・定期教室 ハワイアンダンス、グランドゴルフ、卓球、3B体操、ウォーキング

・小学生向け教室 ソフトボール、子ども遊び教室

・スポーツ交流会、スポーツセミナー

(4) スポーツの普及活動

○スポーツ講習会の開催

○スポーツ傷害保険の加入促進

○スポーツカレンダーの発行

## 災害復旧費関係

局地的に発生した集中豪雨により被害を受けた農地及び農業用施設について、災害復旧事業を実施した。

### 1 農林水産施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
町単災害復旧事業 (農地・農業用施設)	25件	3,491	

## 平成25年度主要施策の成果（特別会計）

### ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、インターネット接続サービス、CS有料放送サービス、IP電話サービスなど情報通信サービスを提供するとともに、自主放送、文字放送により積極的な行政情報等の提供に努めた。

#### ケーブルテレビ施設の管理運営

○加入者件数	4,695件（77.1%）
□インターネット接続サービス	1,143件
□IP電話サービス	180件
□CS有料放送サービス	212件
□STBレンタルサービス	85件
○再放送サービス	
□地上デジタル放送	9局
□衛星BSデジタル放送	9局
□FMラジオ放送	4局
○CS有料放送サービス	
□ゴルフネットワーク外	30局
○主な事業	
・ケーブルテレビ施設指定管理業務	159,600千円
・防災告知端末電話機設置業務	24,769千円
・伝送路移設工事	23,794千円
○IT講習会	
□ビデオ撮影講習会	6回
○主な自主制作番組	
□NewsなかがわTOWN	収録33回 放送150時間／月
□企画番組	25回
○生中継番組	
□町議会定例会、臨時会	9回
○企画番組	
□イアン' S キッチン	1回
□中学校入学式（馬頭中、小川中）	2回

<input type="checkbox"/> 中学校卒業式（馬頭中、小川中）	2回
<input type="checkbox"/> みんなで子育て わんぱく広場	6回
<input type="checkbox"/> 那珂川町新採用職員紹介	1回
・花の風まつり	1回
・なかがわ散歩～四季のなかがわ～	1回
・南那須地区音楽祭	2回
・青少年海外体験学習	1回
・Hello!! 元気っ子	6回
・成人式	1回
・各小学校運動会	6回
・各中学校体育祭	2回
・まほろば太鼓定期演奏会	1回
・いわむらかずお 手作り絵本とお話し	1回
・烈公と小砂焼～郷土資料館企画～	1回
・邦楽民謡舞踊祭	1回
・ネイチャークラブ サマーキャンプ	1回
・広重美術館企画展総集編	1回
・シルバー大学総集編	1回
・年末特集 第九を歌う会発表会	1回
・放射性物質と食の安全に関する理解促進セミナー	1回
<input type="checkbox"/> 立志式（馬頭中、小川中）	1回

#### 特別企画番組

- ニュースダイジェスト（上半期、下半期）
- 新春あいさつ（町長、議長、教育長、JA、森林組合、商工会）

#### ○その他の番組

- 県政のコンテンツ番組 3タイトル
- グリーンチャンネル
- サイエンスチャンネル

#### ○文字放送

- ・文字放送（無料） 261件

#### ○広告放送

- 文字放送（有料） 19件
- ・年賀文字放送（有料） 10件
- 映像放送 4件

# 国民健康保険事業

## 1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	72,625	1,589,741	1,155,481	397,297	36,963
	療養費	2,235	17,404	12,548	4,511	345
	計	74,860	1,607,145	1,168,029	401,808	37,308
退職被保険者等	療養の給付	7,944	137,556	96,313	40,444	799
	療養費	166	1,495	1,047	448	-
	計	8,110	139,051	97,360	40,892	799
合計		82,970	1,746,196	1,265,389	442,700	38,107

## 2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費の給付は、次のとおりである。

○出産育児一時金	16件	6,688千円
○葬祭費	36件	1,800千円
○高額療養費	2,206件	167,626千円
□一般	2,094件	156,249千円
□退職	112件	11,377千円

## 3 国保世帯数、被保険者の状況

○平均世帯数	3,134世帯
○平均被保険者数	6,033人

## 4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策の状況は、次のとおりである。

○特定健診	1,603名
○特定保健指導	139名
○医療費通知	15,245通(6回実施)
○人間ドック	323名

## 後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

○栃木県後期高齢者医療広域連合納付金	173,023千円
○ 〃 負担金	6,344千円
○医療給付費負担金	168,136千円
○平均被保険者数	3,391名
○健康診査受診者	医療機関健診 1,003名
	集団健診 496名

## 介護保険事業

第5期介護保険事業計画(H24～H26年度)により、介護保険事業の更なる充実に努めた。

### 1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成25年度末現在5,710人であった。

### 2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請は、1,160件であり、これらを調査したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、平成25年度末の認定者数は1,059人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(平成25年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	33	86	—	197	241	220	159	92	1,028
2号被保険者	1	1	—	2	11	10	2	4	31
計	34	87	—	199	252	230	161	96	1,059

### 3 利用及び給付状況

介護サービスの利用件数及び給付費について、その主な内訳は次のとおりである。

○居宅介護サービス給付費	11,622件	594,389千円
○地域密着型居宅介護サービス給付費	1,115件	182,205千円
○施設介護サービス給付費	2,615件	612,302千円

□介護老人福祉施設	1, 833件	400, 162千円
□介護老人保健施設	670件	173, 279千円
□介護療養型医療施設	112件	38, 861千円
○居宅介護福祉用具購入費	59件	1, 610千円
○居宅介護住宅改修費	34件	4, 322千円
○居宅介護サービス計画給付費	5, 998件	76, 818千円
○介護予防サービス給付費	900件	23, 487千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	24件	1, 736千円
○介護予防福祉用具購入費	5件	154千円
○介護予防住宅改修費	3件	297千円
○介護予防サービス計画給付費	735件	3, 131千円
○高額介護サービス費	2, 911件	28, 735千円
○高額医療合算介護サービス費	119件	2, 909千円
○特定入所者介護サービス給付費	2, 275件	81, 327千円

#### 4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

##### (1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業（通所型・訪問型）を実施した。

##### ○二次予防事業における対象者把握事業

検診申し込みと合わせて、65歳以上に「基本チェックリスト」を配布・回収し二次予防事業における対象者の把握決定を行った。

□基本チェックリスト実施者 660人

□医療機関検診（参加の可否確認） 7～9月 1, 010人

##### ○通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」を目的とした介護予防教室を実施した。

□前期教室 15回 131人

□後期教室 15回 369人

□転ばん運動教室（継続） 27回 438人

□運動サロン（馬頭、小川、11区） 36回 405人

##### ○訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専

門医による相談会と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

□精神保健相談会	12回	21人(うち高齢者2人)
□保健師による訪問指導		54人

## (2)介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

### ○介護予防普及啓発事業

各単位老人クラブや町社会福祉協議会の事業と連携し、転倒予防のための運動指導を実施した。

□那珂川おたっしや会	25回	339人
□ふれあいいいきサロン	8回	88人

### ○地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほっとなかがわ」の育成と教室への協力。

□新規ボランティア研修会	2回	17人
□介護予防ボランティア・スキルアップ研修・視察研修	3回	39人
□介護予防教室への協力	93回	522人

## (3)介護予防ケアマネジメント事業

特定高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

○特定高齢者介護予防プラン作成	38人
○要支援1・2の者の居宅介護予防支援	延754件(内委託149件)

## (4)総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談及び、権利擁護に関する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

○介護相談件数	324件
○権利擁護(相談件数)	5件

## (5)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

○事例検討会の開催	実人数32人(延118人)
-----------	---------------

## (6)任意事業

### ○地域自立生活支援事業(生活援助員派遣事業)

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：12時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

○家族介護教室

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施

開催回数：7回 84人

○認知症サポーター育成事業

「認知症サポーター講座」を実施し、地域で認知症者を支えるサポーターの育成を図った。

開催回数：3回 40人

○介護事業者ネットワーク会議

開催回数：5回 119人

○紙おむつ購入助成事業

在宅で常時紙おむつを使用する要介護1以上の者に対し、紙おむつ購入に要した経費を助成した。 521件 5,996千円

○地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成26年2月27日

## 下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

(1)整備事業（馬頭処理区）

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事L=348.0m (硬質塩化ビニル管φ150)	17,010	国庫補助金 10,000
	舗装復旧工事、公共ます設置工事	9,900	

(2) 施設管理の状況

項 目	単 位	馬 頭 処 理 区	小 川 処 理 区
処理区域面積	ha	105	84
処理区内人口	人	1,879	2,770
水洗化人口	人	818	2,360
水洗化率	%	43.5	85.2
水洗化戸数	戸	375	875
年間処理水量	m <sup>3</sup>	116,117	280,883
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	318	769

## 農業集落排水事業

農業用水の水質保全、生活環境の改善を図るため、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項 目	単 位	北 向 田 地 区	三 輪 地 区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	443	348
水洗化人口	人	427	322
水洗化率	%	96.4	92.5
水洗化戸数	戸	137	93
年間処理水量	m <sup>3</sup>	70,204	29,926
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	192	82

## 簡易水道事業

簡易水道事業として供用されている8施設における水道水の安定供給および施設の維持管理に万全を期した。また、道路改良工事に伴った配水管の布設及び布設替工事を行うとともに、渇水対策として大田原市との緊急連絡管布設工事を実施した。

### (1) 主な整備事業等

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
小砂地内配水管布設替工事	HPPEφ100、L=287.9m	3,559	
白久地内送配水管布設替工事	HPPEφ100、L=162.9m HPPEφ75、L=112.9m PPφ75、L=111.2m	8,032	
白久地内送配水管布設替工事 2工区	HPPEφ100、L=326.4m	6,006	
小砂地区緊急連絡管布設工事	HPPEφ75、L=281.1m DIP(K)φ75、L=9.6m	9,450	
富山地内減圧弁交換工事	減圧弁交換一式 φ75mm、φ50mm	10,710	
矢又浄水場水位計交換工事	水位計交換 1式	2,047	
南部取水井取水ポンプ交換工事	取水ポンプ 2基 φ50mm	2,520	

### (2) 施設管理の状況

項目	小砂地区	富山地区	矢又地区	大那地区	中部地区	北部地区	南部地区	西部地区	計
給水人口 (人)	1,150	496	239	244	3,573	1,195	1,350	224	8,471
給水戸数 (戸)	373	112	78	53	1,360	350	457	76	2,863
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	101,068	25,000	23,219	9,606	383,800	95,950	125,649	23,250	787,542
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	81,856	22,884	19,754	8,384	327,511	88,493	106,717	20,769	676,368
有収率(%)	81.99	91.54	85.08	87.28	85.33	92.23	89.33	84.93	85.88
1日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	277	68	64	26	1,052	263	344	64	
1日平均給水量 (m <sup>3</sup> )	224	63	54	23	897	242	292	57	
1人1日当り平均配水量 (ℓ)	241	138	266	108	294	220	255	284	
1人1日当り平均給水量 (ℓ)	195	126	226	94	251	203	217	254	

